

科目	精神看護演習				
時間数	1 単位 30 時間	授業方法	講義・演習	授業時期	2 年
講師名	③福田光 ③鈴木勝年 ③毛利智恵美 ③八塚愛未				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	精神看護における患者ケアの実際を学び臨地実習のスムーズな導入を図る。				
目標	1. 精神科病棟の特徴や社会復帰に向けての援助、地域生活支援の実際を理解する。 2. 関係成立・進展のための援助技術が理解できる。 3. 精神科における看護過程が理解できる。				
授業計画					
回	内容				
1～7 (福田・鈴木・八塚)	1. 精神障害をもつ人への看護援助の展開 1) オレム・アンダーウッドモデルを用いた看護過程の展開(事例演習) ^{*2} 2) 発表				
8～11 (毛利・八塚)	2. 障害をもつ人との関係の振り返り 1) 振り返ることの意味 2) プロセスレコード 3) プロセスレコードの書き方と振り返りの実際				
12～15 (福田)	3. リハビリテーション療法の実際 1) 社会生活技能訓練(SST)				
評価方法	その時間数の 3 分の 2 以上の出席者に限り受験資格を与える。 グループ発表や演習への取り組み状況及びレポートを総合して評価する。 60 点以上を及第点とする。				
教科書	精神看護学②精神障害をもつ人の看護:メジカルフレンド社 自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード第 2 版:日総研				